

# 年代別キャリア

A 氏
20代 本社技術部
<b>【経歴】</b>
2019年入社 本社技術部 配属
<b>【現在の職務内容】</b>
入社した直後は、各課の研修を行った後、配属先の先輩社員からの指導、指示を基に業務の補助を行い、そこで業務の手順を先輩から学びました。現在の私の仕事は、土石流による土砂災害から下流住民の人命や財産を保全する砂防堰堤の設計を行っています。設計するにあたり現地を調査し、調査結果をもとに発注者や関係機関、地権者と繰り返し協議を実施し、最適案を提案しています。
<b>【一番印象的な仕事】</b>
初めての砂防堰堤設計業務が印象に残っています。本業務は、平成30年7月豪雨の土石流により被災した現場において砂防堰堤を整備したものであり、今後の豪雨等により土石流発生危険性があつたため、早急な整備が求められました。そのような状態での初めての設計とあり、不安でしたが無事に納品し、設計した2年後には施工が完了しました。その後、現場で完成した堰堤を見た際に非常にやりがいと達成感を抱きました。
<b>【学生へのメッセージ】</b>
建設コンサルタントは、社会貢献ができる、非常にやりがいのある職業です。現在は、新しい物を作るだけでなく、既存の物を効率よく長く活用することも重要となっています。私は入社して、自分の仕事が形として残ることに大きな喜びを感じています。当社は人と人の距離が近く、先輩社員に気軽に相談できる環境が整っています。興味のある方はぜひ、当社のインターンシップや会社説明会にご参加ください。また、入社までに、CAD操作と技術士補を取得することをお勧めします。

B 氏
20代 本社技術部 主任
<b>【経歴】</b>
2018年入社 本社技術部 配属 2023年 本社技術部 主任(技術士補取得)
<b>【現在の職務内容】</b>
私は入社以来、砂防河川や点検調査業務、災害復旧事業に携わり、現在の業務は道路の設計に携わっています。業務内ではすべての窓口である主担当として管理技術者から知識を拝借しながら、業務計画の立案、工程管理、発注者や関係機関との協議等のとりにまとめを行っています。いずれは自身が管理技術者となることを意識し、業務に取り組んでいます。
<b>【一番印象的な仕事】</b>
初めて業務の主体となり、業務計画の立案から成果品の納品まで業務の一連を任せられ、業務を完了させたことが一番印象に残っています。他の関係者にも協力頂き、必ずしも1人で業務を行った訳ではありませんが、入社して数年が経ち、これまでの経験を活かすことができました。しかし、同時に自分の技術力不足を痛感し、さらに技術力を向上し、発注者により良い成果を納品できるよう成長していきたいと改めて認識できた業務となりました。
<b>【学生へのメッセージ】</b>
建設コンサルタントの中でも、調査・測量・計画・設計など様々な分野があり、必要な知識や技術は異なります。当社ではどの分野の業務においても複数人で業務を進行しており、困難な場面に直面しても、上司や業務関係者と共に協力して解決していくことができる社風があります。自分の技術力を研鑽し、社会貢献をしたいと考えている方は、ぜひ私たちと働いてみませんか。

C 氏
30代 本社技術部 課長代理
<b>【経歴】</b>
2011年入社 本社技術部 配属 2016年 本社技術部 主任 2020年 本社技術部 係長(RCCM取得) 2022年 本社技術部 課長代理(RCCM取得)
<b>【現在の職務内容】</b>
私の行っている業務は、河川砂防に関する構造物や災害復旧事業に関する調査・計画・設計等です。現在は、資格を活かし管理技術者として業務を行っています。これまでの経験や知識を活かし、より良い社会インフラの構築・維持を常に心掛けながら仕事をしています。また、チームの進捗管理や、若手・後輩の指導や教育をしています。
<b>【一番印象的な仕事】</b>
防災・減災対策に関する業務に携われたことが一番印象に残っています。私が建設コンサルタント業界に就職を希望した理由の一つに、「人の暮らしの役に立ちたい」という思いがあり、この業務に携わることにより、災害により被災した地域や住民の方々の安全・安心、暮らしと生活を守ることに繋がったと感じたからです。改めて、私の行っている仕事は「誰かの役に立っている」ということを実感しました。
<b>【学生へのメッセージ】</b>
調査・計画・設計などの分野で社会インフラ整備に携わり、地域活性化に貢献したい方、ぜひ私たちと一緒に働きませんか。私たちは道路、河川、鉄道、ダムなどの社会インフラの調査・計画・設計を行い、災害時には現場の早期復旧に努めています。この業界は、会社によって得意分野が異なるため、説明会に参加し、実際に会社の雰囲気や仕事内容を確認することをお勧めします。私たちと共に地域活性化に貢献しましょう。

D 氏
40代 福山支店技術部 課長
<b>【経歴】</b>
1998年入社 岡山支店技術部配属 2007年 岡山支店技術部 主任 2014年 岡山支店技術部 係長 2017年 岡山支店技術部 課長代理 2019年 岡山支店技術部 課長(RCCM取得) 2022年 福山支店技術部 課長(RCCM取得)
<b>【現在の職務内容】</b>
技術部課長として、課全体の進捗状況や、目標数値の管理を行っており、また、道路・鉄道構造物・橋梁補修・点検に関する調査、計画、設計の管理及び部下の指導を行っています。業務では、管理技術者として計画の立案、発注者との協議を行うとともにチーム全体の工程管理、原価管理を行っています。その他、部下の育成指導、より良い職場環境のための提案を行います。
<b>【一番印象的な仕事】</b>
入社1、2年目に経験した鉄道の連立立体化の設計業務です。当時は何も分からなかったのが、地盤のこと構造のこと鉄道のことなど、毎日勉強し先輩に指導を受けながら業務を遂行したのを覚えています。今では、立体化事業も終わり出来た高架橋を見ると、大きな事業に携われた喜びと達成感を感じます。また、この業務で経験し学んだことは今でも、他の業務に活かされ自分を成長させてくれたと思っています。
<b>【学生へのメッセージ】</b>
土木業界は新技術やツールを積極的に取り入れ、大きな変革を遂げています。この変化に対応できる若い技術者が重要です。私たちと共に新技術に挑戦し、学びながら社会インフラ整備に貢献しませんか。ケイ・エム調査を含む建設コンサルタント業界は、働き方改革を進めつつ、若い技術者を求めています。当社では資格取得のバックアップも行い、その努力を報奨金や資格手当で評価します。共に業界を支える仲間をお待ちしています。

E 氏
50代 本社技術部 部長
<b>【経歴】</b>
1995年入社 本社技術部 配属 2000年 本社技術部 主任 2005年 本社技術部 係長 2009年 本社技術部 課長代理 2010年 本社技術部 課長(技術士取得) 2011年 技術士取得 2017年 本社技術部 次長 2018年 本社技術部 部長 2020年 技術部 執行役員 兼技術部長 2022年 技術部 取締役 兼技術部長
<b>【現在の職務内容】</b>
取締役として、インフラ事業を通じて社会に貢献し、会社の継続的な成長を目指しています。これには、長期的な経営戦略、財務管理、人材管理、組織管理、リスク管理、イノベーション推進、ガバナンス確立が含まれます。特にCIM(3D設計・測量)の推進に注力し、AIを活用した効率化を模索中です。技術部長としては、技術部全体の管理、技術力向上、業務効率化に注力し、新技術の導入や教育訓練、システム構築を推進しています。
<b>【一番印象的な仕事】</b>
入社後10年間は道路設計、測量、災害業務に従事し、基礎知識を学びました。その後の15年間は、大規模災害の増加に伴う国土強靱化のため、河川や砂防の業務に携わりました。特に印象深いのは、入社5年目に主担当した新設県道(2Km)の測量設計業務です。技術力や経験が浅い中、無我夢中で取り組み、大きなやりがいを感じました。2008年の開通時には感慨深い思い出があり、この業務が自分の技術基盤を構築してくれたと感じています。
<b>【学生へのメッセージ】</b>
DXが急加速する時代においても、技術者に求められる「技術力」「人間力」「向上心」は不変です。若い時期に多くの業務に携わり、情熱を持って取り組むことで、技術力が身に付き将来の糧となります。また、コンサルタントの仕事はチームで行うため信頼関係が非常に重要です。入社後は積極的にコミュニケーションを図り、技術者としても人間としても成長して頂きたいと思っております。AIの活用等これからの技術革新をリードし、当社に新しい風を吹き込んで頂くことを期待しています。

